



事業番号	09 06 01	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b>		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地籍を明確にする事業	部局	農政部	課・室	農地整備課		
		実施期間	S27 ~	E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化						

## 1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> 土地の境界確定により地籍の明確化を進め、成果を国土の保全や土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化などに活用する。 第7次国土調査事業十箇年計画（令和2年度～11年度）における目標面積 187km <sup>2</sup> <b>【これまでの取組】</b> 第6次国土調査事業十箇年計画（平成22年度～令和元年度）における目標面積490km <sup>2</sup> ⇒実績146km <sup>2</sup> 、達成率30%	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	<b>課 題</b> 宅地や農地に比べ、林地の進捗が遅れている。  次の地域を優先的に実施する。 ①社会資本整備 ②防災対策 ③都市開発 ④森林施業 ⑤所有者不明対策	<b>今後の方向性</b> 林地において、新技術（リモートセンシング技術）を活用した調査を促進する。  地籍調査を促進することにより、防災対策の推進及び社会資本整備の効率化を図る。

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	<b>29市町村において地籍調査を実施</b> 地籍調査は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界測量と面積計算を行い、地図及び簿冊を作成する。	 公図（調査前）  地籍図（調査後）
	地籍調査の効果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧の迅速化 災害後に元の位置が容易に確認でき、迅速な復旧に役立つ。</li> <li>・土地取引の円滑化 正確な土地の状況が登記簿に反映され、登記制度の信頼性が向上するとともに、安心して土地取引ができる。</li> <li>・土地の境界に係わるトラブルの防止 境界が明確になるので、境界紛争等のトラブルを未然に防止できる。</li> <li>・課税の適正化 面積が正確に測量されるため、課税の適正化に役立つ。</li> </ul>	

指標の状況及び目標値 [ / :改善、\ :悪化、→ :変化なし ]						事業 コスト	区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)	R3年度 目標値		前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	実施市町村における調査面積 (km <sup>2</sup> )	—	—	10	22	予算額 合計(A) うち一般財源 決算額(B) 職員数(人)	96,751	61,988		
2							当初予算	333,685	292,517	要求 365,125 予算案 276,805
3							補正予算	-52,822	-605	
4							合計(A)	377,614	353,900	要求 365,125 予算案 276,805
5							うち一般財源	130,290	118,619	要求 122,775 予算案 93,335
						決算額(B)	314,639			
						職員数(人)	6.10	6.10	6.00	

成果指標 設定理由	①第7次国土調査事業十箇年計画（令和2年度～11年度）に基づき、令和3年度実施市町村における計画面積（累計）を成果指標に設定した。
--------------	---

予算要求からの 主な変更点	前年度までの国庫補助金の交付実績を考慮し経費を減額
------------------	---------------------------